

きっかけが未来を創る

ー 市と人をつなぐ「親子ワーケーション」ー

森田 小雪

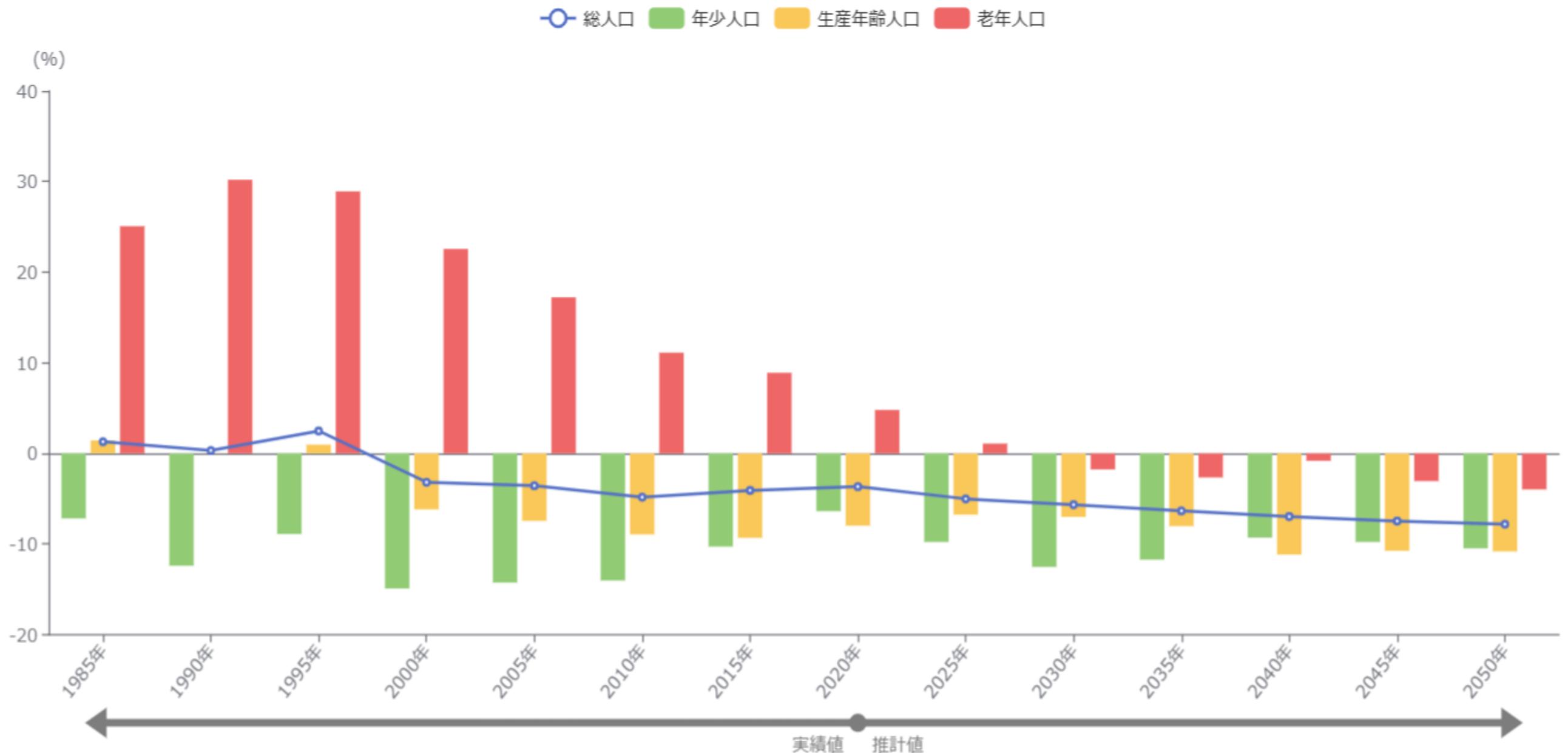
目次

- ▶ 現状と課題
- ▶ 親子ワーケーション
- ▶ 親子ワーケーションの先行事例
- ▶ 塩竈市浦戸諸島で実施する意義

▼ 現状と課題

宮城県塩竈市の人口増減推移

1995年以降から総人口は減少傾向にあり、特に、年少人口と生産年齢人口の減少が目立っている。今後も人口は減少すると推測されているため、減少に歯止めをかける政策が必要である。



▼ 現状と課題

注目ポイント



年少人口 × 生産年齢人口

特に、減少傾向がみられる
年少人口と生産年齢人口であるが
それぞれを単体の政策や事業対象
として見るのではなく、掛け合わ
せて「親子」としてみることで、
親子と離島地域をつなぐ取組み
を考える。



持続可能性

今すぐに！ではなく長期的にみて、
今後の人口減少や少子高齢化に
ストップをかけるため、一過性では
なく持続的なサイクルを生むための
取組みを考える。

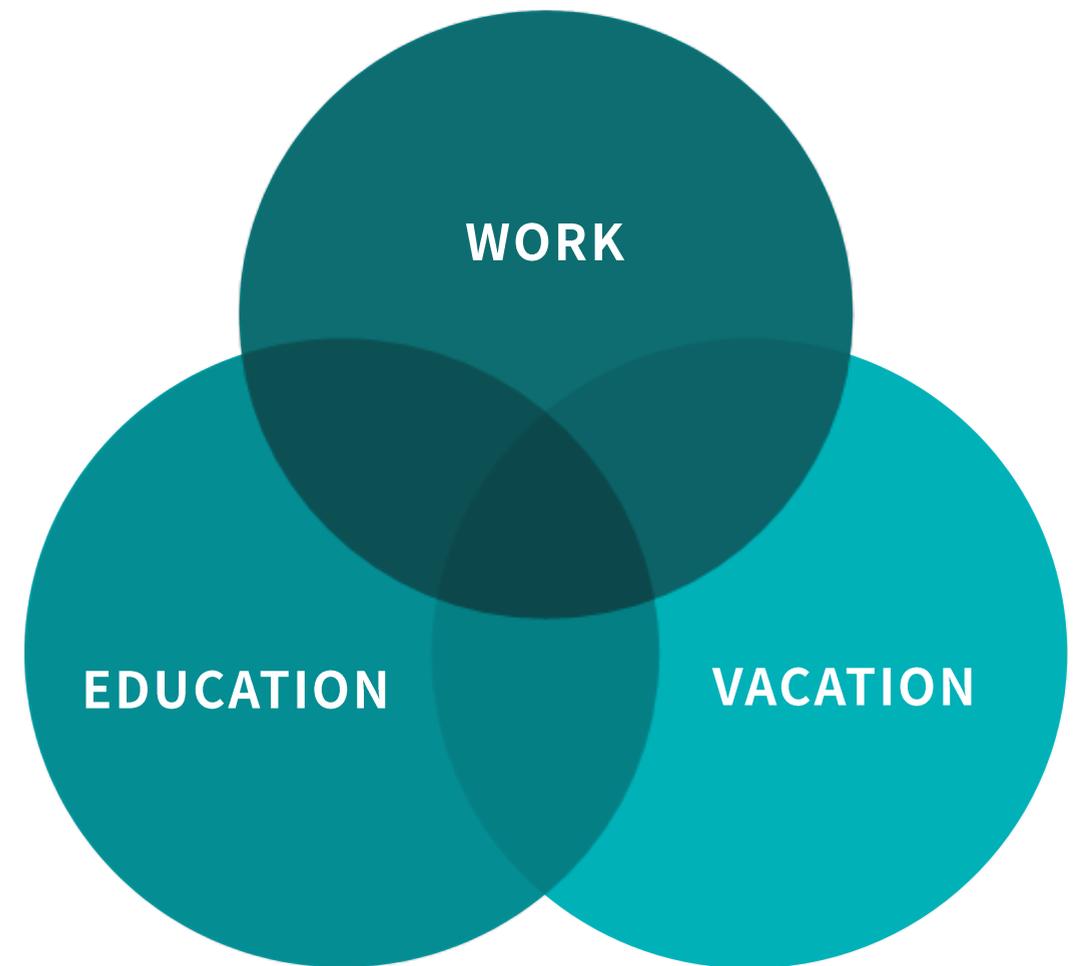
▼ 親子ワーケーション

双方に刺激的なきっかけ。

WORK(親の仕事)、EDUCATION(子の教育)、VACATION(親子の休暇)という3つを合わせたもので、リモートワークを活用して親子で旅行を楽しみながら仕事を行う新しいライフスタイルの1つである。

また、「子どもが関係人口になる」「将来的・長期的な関わりを見込める」など地域にとって持続性のある関わり方のきっかけづくりとしても効果があると考えられている

親子deワーケーションHPより



▼ 親子ワーケーション

WORK

大人への価値

- 自律性、能動性
- 越境学習、寛容性
- 内省促進
- ワークライフ
インテグレーション
- 子どもとの関係性
向上

EDUCATION

子どもへの価値

- 変化対応能力
- コミュニケーション
能力
- 仕事への理解
- パラレルワールド
体験
- 第二のふるさと発見

VACATION

地域への価値

- 経済効果
- オフシーズン集客
- PR
- 地域住民への刺激
- 長期的な関係人口

総務省HPより

それぞれにとって自身と向き合い、新たな出会いの
“きっかけ”になる

▼ 親子ワーケーションの先行事例

広島県大崎上島町

「【親子ワーケーション】親子でおためし離島ぐらし」

実施期間：2024年7月29日～8月2日

滞在日数：実施期間内なら自由

参加人数：7家庭

(小学生12人・保護書10人)

職場：提供あり

プログラム内容：右図参照

一般社団法人まなびのみなとHPより

	7/29 (月)	7/30 (火)	7/31 (水)	8/1 (木)	8/2 (金)
A M	SUP & シーカヤック 体験 10:00-12:00	島の 高校生とつくる オリジナル ハンバーガー 9:00-12:00	漁師さん 体験 9:00-12:00	SUP & シーカヤック 体験 10:00-12:00	島の カレー屋さん とつくる スパイスカレー 9:00-12:00
P M	寺子屋 @ミカタカフェ 13:00-17:00	寺子屋 @ミカタカフェ 13:00-17:00	寺子屋 @ミカタカフェ 13:00-17:00	寺子屋 @ミカタカフェ 13:00-17:00	寺子屋 @ミカタカフェ 13:00-17:00

▼ 親子ワークショップの先行事例

参加者からの声

- ・ 地域の方との密な関わりが親子ともに**新鮮**だった
- ・ また来たい、**継続的**に訪れたい
- ・ 地域に何か**お返し**をしたい

お手伝いの高校生からの声

- ・ **島についてもう一度考える**きっかけになった
- ・ 島の**魅力や楽しみ方**を見つけることができた

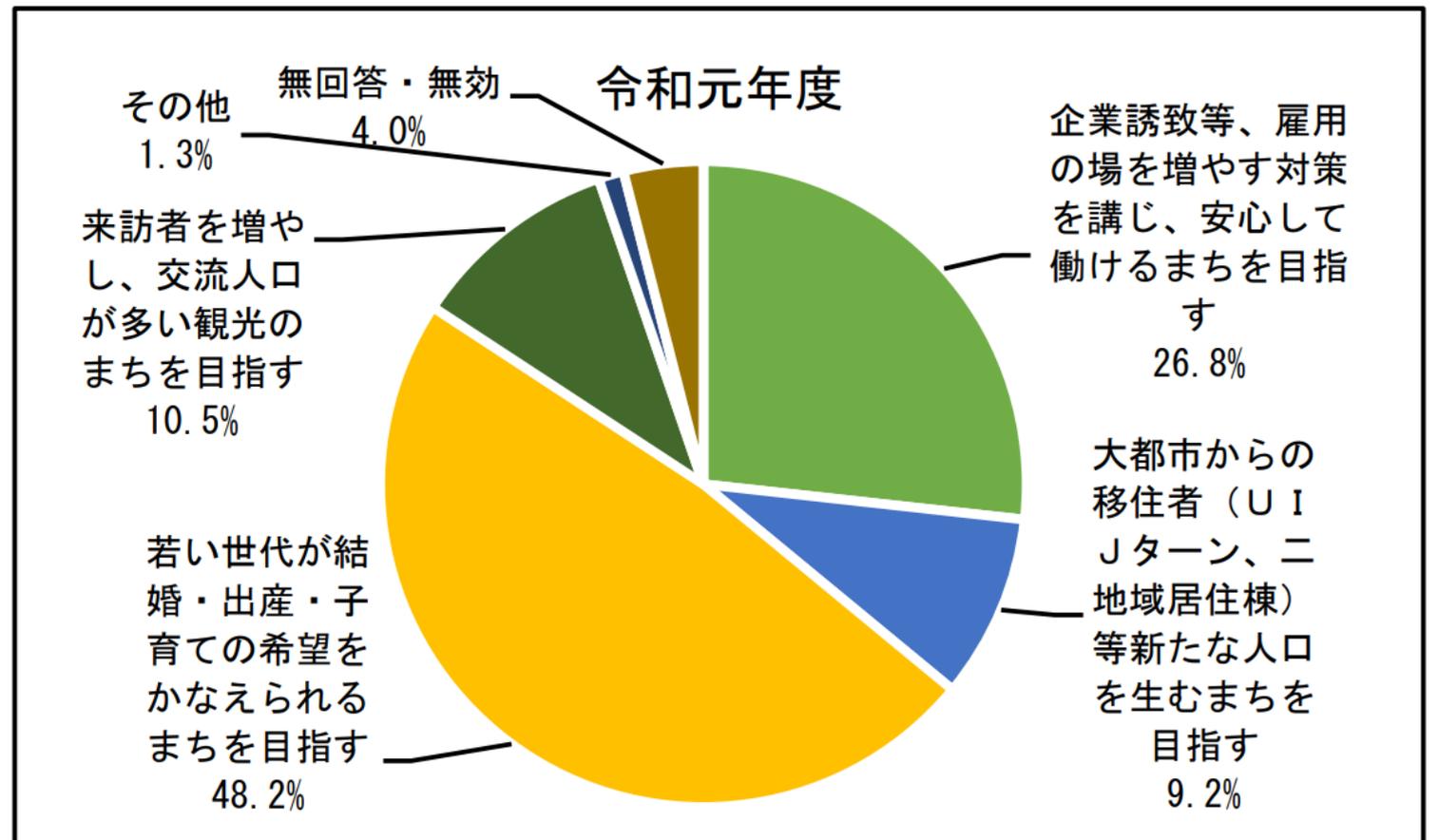


▼ 塩竈市浦戸諸島で実施する意義

市民アンケート調査の結果からみた 「まちづくりの方向性」に関する市民の意向

塩竈市が令和元年7月に実施した「市民アンケート調査」によると「まちづくりの方向性」について「若い世代が結婚・出産・子育ての希望をかなえられるまちを目指す」が48.2%と最も多く、市民からの関心が高いことがわかる。

また、「来訪者を増やし、交流人口が多い観光のまちを目指す」が10.5%と3番目に多い。



塩竈市まち・ひと・しごと創生総合戦略より

市民ニーズと親子ワーケーションの在り方がマッチしているのでは？

▼ 塩竈市浦戸諸島で実施する意義

第6次塩竈市長期総合計画

1, 目指す都市像

「海と杜に育まれる 楽しい塩釜」

2, まちづくりの基本理念

「今ある個性を大切にし、みんなでつなぎ合わせて、新しい魅力を創り上げていく、未来に続くまちづくり」

第6次塩竈市長期総合計画より

親子ワーケーションの効果、特徴はまちづくりの
基本理念に沿い、目指す都市像に向かう
第一歩になるのではないか？

▼ 塩竈市浦戸諸島で実施する意義

浦戸諸島の活用

- 1, 塩竈港から20～50分程度で渡ることができる距離感
- 2, 歩いて周りきることができる規模感
- 3, 島民の目が行き届く環境
- 4, 桂島・寒風沢ステイステーションを活用することで、
仕事環境も宿泊場所も確保が可能
- 5, 海と山、島ぐらしや島の歴史・文化などが揃い、
非日常的な体験が可能

親子ワーケーション実施において、必要な資源が揃っているのではないか？

▼ 塩竈市浦戸諸島で実施する意義

塩竈市に与える
影響

- ・ 自然や歴史などの地域資源を体験してもらえる
- ・ 地域住民のニーズに応えることができる
- ・ 地域の魅力について再確認するきっかけになる
- ・ 地域外とのつながりで新たな発見や活力が生まれる
- ・ 継続的かつ長期的な関係人口創出につながる
- ・ 第二のふるさとや旅行、移住候補になる

▼ 参考文献

RESAS 地域経済分析システム「人口増減宮城県塩竈市」<https://www.resas.go.jp/population-sum/?pref=04&city=04203&tab=1&year=2020&level=city&lat=38.31472350724736&lng=141.02188110351565&zoom=10&opacity=0.8> 2024年11月28日
塩竈市「長期総合計画」2022年5月13日
<https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/6/3568.html> 2024年11月28日
塩竈市「塩竈市まち・ひと・しごと創生総合戦略」2021年4月2日
<https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/6/2377.html> 2024年11月28日
株式会社ソトエ「親子deワーケーション」<https://oyakodeworkation.com/> 2024年11月28日
総務省「親子ワーケーションの可能性」2022年10月
https://www.soumu.go.jp/main_content/000846200.pdf 2024年11月28日
一般社団法人まなびのみなと「【親子ワーケーション】親子でおためし離島ぐらし」2024年6月7日
<https://manabinominato.or.jp/%E3%80%90%E8%A6%AA%E5%AD%90%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%80%91%E8%A6%AA%E5%AD%90%E3%81%A7%E3%81%8A%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%97%E9%9B%A2%E5%B3%B6%E3%81%90%E3%82%89/> 2024年11月28日